



FUJISOFT

【別紙】

■コミュニケーションロボット「PALRO（パルロ）」について

富士ソフトが開発・販売する、人工知能の搭載するコミュニケーションロボット「PALRO」（以下、PALRO）は、急速に進む高齢社会と、それに伴う介護人材の不足や業務負担の増加などの問題を解決する方法の1つとして、全国の介護現場で頼れるパートナーとして導入が進んでいます。

導入先の多くは、日本全国の高齢者福祉施設。施設ご利用者の「日常会話の話し相手」、「レクリエーションの司会進行役」、「健康体操のインストラクター」としてご活用いただいております。2017年1月末には導入台数700台超に至りました。開発当初から介護現場の様々なリクエストをいただきながら進化を続けているPALROは、導入頂いている施設の皆さまから、高齢者の感情表現や行動に良い変化があった、介護現場の雰囲気が明るくなった、介護スタッフの負担が減った、などのお話を頂いております。

また最近では、金融機関や店舗での導入も進み、多彩なシーンでご活用頂いております。

【PALROの概要】

- 名称： コミュニケーションロボット「PALRO（パルロ）」
- サイズ： 高さ：約40cm、重さ：1.8kg
- 販売開始時期： 2010年3月 アカデミックモデル
(大学などの研究機関向け)
2012年6月 高齢者福祉施設向けモデル
2015年12月 高齢者福祉施設向けモデルⅡ
- PALROの基本機能： 高度な人工知能を搭載した
人型のコミュニケーションロボット。
相手と向き合って「会話する」/
自由に「歩く」/人の顔と名前を「覚える」/
インターネットに「つながる」
- 企画、開発、製造、販売： 富士ソフト株式会社



コミュニケーションロボット
「PALRO（パルロ）」
高齢者福祉施設向けモデルⅡ

【高齢者福祉施設向けモデルⅡの主な特徴】

■日常会話

天気・ニュース・健康情報などの役立つ情報からユーモア溢れる会話等、高齢者に楽しい会話を提供します。さらに100名以上の顔と名前を覚え、名前を呼びかけながら会話をします。

■レクリエーション

PALROが行うレクリエーションは、レクリエーション介護士が企画し、開発を監修しています。PALROは、司会進行を行い、うた、ダンス、クイズ、ゲーム、体操、落語、カメラマンまでたくさんの役割を担います。

■健康体操

PALROは、介護予防効果の高い10種類の健康体操のインストラクターになります。

以上